

## 復興まちづくり委員会アドバイザーからの主な提言・助言事項

	提言・助言の内容
1	津波の高さと防潮堤の高さの間のゾーンは広範囲。産業系や高層住宅等条件を設け、上手に活用を。
2	新しい仕事の誘致とスマートコミュニティの実現を。
3	復興まちづくり会社の立ち上げを検討すべき。
4	既存企業の再建は重要。各企業に担当職員を配置して企業の意向を的確に把握し、迅速に問題解決を図るべき。
5	非浸水区域に企業用地を探しつつ、なければ広域的に探すことが必要。
6	新産業創出による雇用確保が重要で、水産加工業者が立地できれば望ましい。水産加工業の技術革新と体質改善への取り組みを。
7	ガレキ撤去の次は、漁業基盤の再建への作業を漁業者の繋ぎ雇用に出来ないか。
8	シミュレーション結果を深追いすべきでない。例えば両石の防潮堤の高さを16mとすると、日常生活に支障が生じないか。可住地は残るのか。コミュニティは維持できるのか。
9	復旧の現実的な対応は、まず原型復旧。その上で、避難路避難ビル、公営住宅等を各地に配置。
10	釜石では高台造成はあり得ない。
11	鶴住居小学校は防災拠点・地域の核として整備を。
12	湾口防波堤はまちが成り立つ前提条件。復旧の必要性を主張すべき。
13	各地域に対し、地域主体の総意集約による合意形成を促すべき。行政による個々の意見集約は不可。
14	スマートグリッドや再生エネルギーは東京目線ではなく、ローテク・小規模に。かつ、他にはない釜石固有の資源（＝新日鐵、林業（間伐材）、風車、釜石ガス）の活用を。ガスについては、LNGに加え、災害対応としてLPGの検討も。
15	今後、観光は重要産業。外から人を呼ぶストーリーを作り、150～200万人の観光客入込数を目指すべき。
16	被災地で雇用を確保した企業にインセンティブを与える施策はどうか。
17	乳酸菌ギャバやコバルト・クロム・モリブデン合金開発といったハイテクの取り組みは、今後も積極的に継続すべき。
18	新日鐵やSMCが釜石に立地している要因（釜石の優位性）を再確認すべき。
19	学生のインターンシップ受け入れやUターンを促進し、人材確保を。
20	水産流通・加工業者は、国の財政支援活用が不慣れ。第2次、第3次補正予算施策メニューを活用できるよう、県と連携して支援を。
21	今後の集落移転とは別に、漁業者の生活再建のため漁港の早期復旧を。
22	水産加工業者の早期再建に向け、工場用地の嵩上げを先行できないか。また、宅地整備できない土地に水産加工業者を誘致し団地化。
23	漁協、漁業者、行政の距離感を縮める話し合いの場が必要。
24	放射線に対する水産物の安全性確保のため、検査体制が必要。県水技センターや東京海洋大学、岩手大学に研究拠点立地を働きかけつつ、依頼すべき。
25	宮古、大船渡との差別化のため、大槌と連携した一体的な漁業復興が重要。
26	サンマ、サバ、サケ、アワビ、ナマコ等の豊富な輸出商材について、HACCP対応や高鮮度維持を含め漁業者と加工業者の連携が必要。魚種ではなく取扱方法で勝負。
27	発災初動時、市役所の通信（PC、電話）が機能不全にならないためのバックアップ対策を。

## 復興まちづくり委員会アドバイザーからの主な提言・助言事項

28	被災を免れた地域にも身内が被災した方もおり、「非被災地域」との表現は適当でないのではないか。
29	緑化、自然を使った潤いづくりなど、“釜石の仮設住宅は住みやすい”と言われる取り組みを。
30	高校生にふるさとの記憶を残すため、進学等で高校生が市外に出る前に、市長や議会と話し合う機会を持つべき。
31	復興プラン骨子に釜石の固有名詞（虎舞、釜石ラーメン・・・）を出すべき。
32	外部からの支援提案が殺到し、非被災地の自治会は疲労。一方で、仮設住宅の生の情報が入らない。双方の接点が必要。
33	外部の協力を得る上で、NPOの取り組みは今後重要。資金方策は民間財団の支援活用がカギ。
34	高台移転について、漁村は仕事と生活の分離は困難（田野畑村では、高台と浜の2箇所に住居があり、浜は作業場を名目としているが実際は居住している）。
35	国の決定を待っていては時期を逸する。釜石から国に働きかけを行う体制を。また、庁内の部局横断的連携が重要。
36	子どもを取り上げるのはよい。中高生の作文を募集し、復興計画策定に活かすべき。
37	津波・防災教育の全国拠点（モデル地域化）を目指せ。3年以内に釜石への防災教育旅行プログラム化し、釜石に人を呼び込め。
38	教科書への「釜石の奇跡」掲載の働きかけを。
39	国の第3次補正予算に盛り込まれるであろう「被災地雇用総合プログラム」の活用を。
40	生涯学習推進のため、防災、環境、ものづくり等をテーマにゆかりのある大学から定期的に講師が出講する「市民大学」設立を。
41	復興プラン骨子にアメニティが欠如している。呑兵衛横丁、橋上市場等、釜石の伝統的な顔、魅力が必要。「真面目さ」と同時に「遊び」も大切。